

志賀原子力発電所 1号機 高圧炉心スプレィディーゼル発電機の制御盤内のケーブル損傷について

第13回定期検査中の志賀原子力発電所 1号機において、平成23年11月17日、高圧炉心スプレィ (HPCS) ディーゼル発電機¹の点検作業の中で回路試験を実施していたところ、10時03分、「115V HPCS 直流地絡²」警報が発生しました。

現場を調査したところ、高圧炉心スプレィディーゼル発電機の制御盤内にこげ痕があり、ケーブルが損傷していることを確認しました。

原因を調査した結果、現場の始動用電磁弁³端子箱内においてケーブルを取り付ける作業を行う際、整線⁴が不十分だったために、ケーブルが端子に噛み込み、短絡が発生したことが判明しました。

このため、ケーブルの取付けの際はチェックシートを用いて整線が行われていることの確認を行うこととしました。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

- 1 高圧炉心スプレィ (HPCS) ディーゼル発電機
外部電源喪失時に原子炉に注水するポンプの電動機に電力を供給するための発電機の一つ。
- 2 地絡
電気回路内のケーブルが接地し、異常な電流が流れる状態となること。
- 3 始動用電磁弁
ディーゼル発電機を始動する際の圧縮空気を供給するための弁。
- 4 整線
端子箱への収納等の際して、ケーブルの取り回しを整えること。

